

令和6年9月議会において

検討を約した事項

（令和7年7月末現在）

令和6年9月議会において検討を約した事項

担当部局
関係部局

1. 知事が検討を約した事項(5項目)

- | | | |
|--|---------|------|
| (1) 「大阪府安全なまちづくり条例」の改正検討(振込限度額の引下げ) | 危機管理室 | (終了) |
| (2) ワンストップ支援センター機能の維持・継続 | 危機管理室 | |
| (3) 基礎自治機能の充実強化について | 総務部 | |
| (4) 御堂筋イルミネーションの点灯時間延長について(24時間楽しめる都市・大阪の実現に向けて) | 府民文化部 | |
| (5) 万博のレガシーである「静けさの森」の残置について | 大阪都市計画局 | |

2. 知事が国への要望を約した事項(1項目)

- | | |
|----------------|---------|
| (1) 米の流通不足について | 環境農林水産部 |
|----------------|---------|

令和6年9月議会において知事が検討を約した事項

番号	質問項目	検討を約した内容要旨	対応状況（R7.7月末時点）	検討期限（予定）	質問の種類（会派）	担当部局 関係部局
2	ワンストップ支援センター機能の維持・継続	SACHICOと協議しながら、今年度できるだけ早期に移転先を確保し、ワンストップ支援センター機能の継続性を確保するとともに、医療機関との連携の向上や各相談機関との連携強化等により機能充実を図っていく。	ワンストップ支援センターについては、令和7年2月の大阪府戦略本部会議において、府の責務として主体的に運営するため、委託事業化するとともに、運営形態を病院拠点型から、特定の病院に負担がかからない連携型に見直した。 また、民間病院内から、大阪府こころの健康総合センターの建物内に移転することに決定し、令和7年秋頃の移転に向け、内装工事等を行っているところ。		代表質問 （維新） （公明） （自民）	危機管理室
3	基礎自治機能の充実強化について	市町村における、さらなる行財政改革や広域連携、自主的な合併の取組について、府として、インセンティブとなる効果的な支援策を検討していく。	令和7年3月、基礎自治機能の充実・強化に関する施策を総合的に推進するための基本方針を策定した。 この基本方針を踏まえ、令和7年度から、より踏み込んだ将来のあり方や人材確保等の課題解決に向けて取り組む市町村を検討・議論の段階から支援する市町村振興補助金（基礎自治機能充実強化推進分）を拡充したほか、市町村の公共施設の最適配置の取組を支援するための市町村施設整備資金貸付金（特別枠）の創設などの支援に取り組んでいる。		代表質問 （維新）	総務部
4	御堂筋イルミネーションの点灯時間延長について（24時間楽しめる都市・大阪の実現に向けて）	昼夜を問わず多様な楽しみ方ができる「24時間おもてなし都市」を目指すべく、万博開催期間中に御堂筋イルミネーションの実施期間を延長することに加え、点灯時間の延長も検討していく。	例年11月から開催している御堂筋イルミネーションについて、万博の開幕に合わせて令和7年4月から点灯を開始。点灯時間についても25時まで延長している。		代表質問 （維新）	府民文化部

令和6年9月議会において知事が検討を約した事項

番号	質問項目	検討を約した内容要旨	対応状況（R7.7月末時点）	検討期限（予定）	質問の種類（会派）	担当部局 関係部局
5	万博のレガシーである「静けさの森」の残置について	令和6年度内に、大阪府市として「夢洲第2期区域のマスタープラン」を策定することとしており、この中で「静けさの森」の残置についても、その実現可能性や手法等を含め検討していく。	夢洲第2期区域においては、万博の理念を継承したまちづくりを進めることとし、令和6年9月に「夢洲第2期区域マスタープランの策定に向けた民間提案募集」を開始し、まちづくりについて具体的な提案を受け、令和7年1月に2件の優秀提案を決定した。 令和7年4月には、この優秀提案の内容を参考に、「夢洲第2期区域マスタープランVer. 1.0」を策定し、その後、万博レガシーの継承として静けさの森の樹木の利活用について、2025年日本国際博覧会協会及び関係者との協議結果を踏まえ、記載内容を更新した「夢洲第2期区域マスタープランVer. 2.0（案）」を取りまとめ、パブリックコメントを実施した。 今後、令和7年夏頃に「夢洲第2期区域マスタープランVer. 2.0」を策定し、令和7年度後半には同マスタープランを踏まえた開発事業者の募集を開始する予定であり、開発事業者に対し、当該樹木を利活用した、まちづくりと一体となった緑地等の整備の提案を求めることとしている。	令和6年度内	一般質問（維新）	大阪都市計画局

令和6年9月議会において知事が国への要望を約した事項

番号	質問項目	要望を約した内容要旨	対応状況（R7.7月末時点）	質問の種類 （会 派）	担当部局 関係部局
1	米の流通不足について	令和6年に生じた米の品薄状況の背景や原因についてしっかりと分析し、二度と同じ状況をつくらないような対策を講じるよう国に求めている。	令和6年12月に農林水産大臣に対して、米の需給状況のモニタリングや適時適切な情報提供等の様々な取組を行い、米の安定した流通を堅持すること、また、備蓄米制度の弾力的な運用を含め、米の急激な需要の増加にも耐えうる供給体制の構築について検討することを要望した。 国は、米の販売数量や価格の推移等を週次で公表するとともに、政府備蓄米について、大凶作や連続する不作などにより米が不足するときだけでなく、円滑な流通に支障が生じる場合であって農林水産大臣が必要と認めるときにも放出することができるよう方針を見直し、令和7年3月より順次、入札や随意契約による備蓄米の売渡しを開始した。売渡し枠を最大81万トンに設定し、令和7年7月6日までに約21万トンの備蓄米が小売・中食・外食事業者に販売された。	環産委員会 （民主）	環境農林水産部